

# 循環型林業の推進に向けたトーセンの取組～川上への進出～

## とちぎの森林・林業・木材産業の概要

### 川上

#### ○ とちぎの森林の概要

県土面積：64万ha  
 うち森林面積：35万ha  
 うち民有林：22万ha  
 うち人工林：12万ha  
 うち60年生以上：3.3万ha（1,400万m<sup>3</sup>の蓄積）

伐期を迎えた森林資源  
 高いポテンシャル



素材生産業  
 （森林組合、林産事業体）



#### 森林の機能

- ◆木材の生産
- ◆水源の涵養
- ◆レクリエーション・保健休養の場
- ◆地球温暖化の防止 等
- ◆県土の保全
- ◆生物多様性の保全

原木市場



- ・素材生産量：関東甲信越地域第1位
- ・優良材として市場評価が高い原木丸太

### 川中

製材・集成材工場  
 （一次加工）



- ・無垢材の生産拠点
- ・全国第1位の国産材工場をはじめ、全国クラスの大型工場が複数存在
- ・製品出荷量：関東甲信越地域第1位
- ・乾燥材生産量：全国第1位

### 川下

流通業  
 （木材販売業  
 ・製品市場・商社）



- ・全国有数の製品市場（市売問屋）が存在
- ・生産者と需要者を結び役割

◎ 既存流通とプレカットが共存共栄している全国でも稀な地域

プレカット工場  
 （二次加工）



- ・木材流通の「要」
- ・全国クラスの大型工場が存在

設計業

建築業  
 （大工・工務店、  
 ハウスメーカー、  
 ビルダー等）



- ・地域材活用に不可欠な工務店の  
 守備範囲が広い

古くは河川の水流を利用して木材を山から運んでいた林業・木材産業では、川の流れに例え

丸太の生産や植林等の仕事を 「川上」  
 製材や集成材等を作る仕事を 「川中」  
 木材を売る仕事やプレカット、  
 建設業などの仕事を 「川下」

と呼ばれています。上流にある森林から生産された丸太が川で運ばれて、製材工場にたどり着き、加工された製品はその後さまざまな経路で活用される、そのようなイメージでしょうか。

トーセンはこれまで、製材を中心とした「川中」の仕事に長く取り組んできましたが、エネルフォーレ50における発電事業のように、近年は「川下」の仕事の一部にも取り組んでいます。

さらに昨今では、森林資源フル活用・循環型林業推進のため「川上」の仕事にも進出しています。

(株) トーセン (栃木県矢板市)

- 製材・集成材生産、バイオマス発電事業等に加え、地域の森林管理へ貢献しつつ、原木を安定的に調達するため、山林の買取、経営受託事業を展開。
- 令和4年には、自社所有の山林が約500ha、管理受託山林が約300ha、計約800haの山林について森林経営計画の認定を受けて管理。
- 素材生産事業に携わる人材の育成に取り組み、自社内に1チームの素材生産班を組織。外注の素材生産班と合わせて、年間4万m<sup>3</sup>の原木を自社工場に供給。これにより、工場の原木消費量の約1割を賅っており、将来的には3割まで拡大させることを目指す。

<同社事業の全体像>



左記のように、「素材生産」と呼ばれる丸太を生産・出荷する事業や、伐採跡地への植林等「造林」事業への進出、上記の弊社HP「山林活用.com」において山林の買取や管理委託を受け付ける等「川上」への取組を強化しています。

これらは全て、森林資源フル活用・循環型林業の推進につながる取組と考えています。